



2010 Graduation Works

DESIGN GRADUATION WORKS

INTERFACE INTERIOR GRAPHIC PRODUCT CRAFT

会津大学短期大学部産業情報学科デザイン情報コース

2010 卒業作品集

Calendar 2010.4-2011.3

会津大学短期大学部産業情報学科デザイン情報コース
卒業作品集 2010 年版

編集 井波 純

発行
会津大学短期大学部産業情報学科デザイン情報コース 2010 年 3 月
phone 0242-37-2300 (代表)
<http://www.jc.u-aizu.ac.jp>



ごあいさつ

この「作品集」は、「卒業研究ゼミ発表会」、「卒業研究ゼミ要旨集」、「卒業展」と、様々な機会を通して広く公表し多くの方々からご批判を仰いできました、卒業研究ゼミの成果を示す最後のものです。「作品集」の発行は今年度で6回目を迎えました。一昨年度から採用しましたカレンダー形式の編集により、この作品集はより身近な存在となってきています。

産業情報学科では、「卒業研究ゼミ」を必修科目として位置付け、1年次の後半からプレゼミとして実施し、2年次より具体的なテーマを設定し、問題解決能力や創造性の研鑽に取り組んでまいりました。その内容はWebデザイン、グラフィックデザイン、漆工芸作品、空き家利活用、まちづくり、製品デザインと様々ですが、いずれも地道な研究を裏づけとした力作です。今年もここ数年の傾向に準じて福島県立博物館主催の「漆のくに・会津プロジェクト」に協力した「会津漆のくにwebプロジェクト」をはじめ「空き店舗を中心とした南会津町商店街活性化」、「闇川集落の地域PR」「闇川再生プロジェクト」、「おおまち・フラッグストリート・プロジェクト」「あいづ暮らし水景の調査研究」など地域に密着したテーマや、「災害時の住環境」、「会津地域におけるグループホームの調査・提案」、「障害者のための起立補助具の提案」など社会的課題をテーマとしたものが多くございます。

学生諸君にとっては、学生時代の創作への熱意と活力に満ちた日々の証として、知性と感性を傾け、創造への情熱を持って過ごしたときとして、喜びに満ち、時には苦しみもした、或いは挫折感を味わったときでもあります。そうした中から創造された作品たちは、ある意味、ときの記憶でもあり、良き思い出のアルバムになるものと期待しております。

卒業する学生諸君には、この「卒業研究ゼミ」で経験したプロセスと反省を通じて、創造することへの喜び、諸問題に取り組んだ挑戦するエネルギー、充実したときを過ごして得た達成感などを思い出しながら、今後の社会生活の中で果敢に展開し、更なる飛躍に繋げていってほしいと願っています。

最後に、卒業研究および卒業制作にご支援、ご協力をいただきました学内外の関係者の方々に深く感謝するとともに厚く御礼を申し上げます。また、この作品集は広く学外にも配布して、諸賢の御高覧に供しています。皆様の忌憚のないご意見、ご批判を賜れば幸いに存じます。

平成22年3月

会津大学短期大学部産業情報学科
学科長 時野谷 茂

32人×20プロジェクト





会津は漆液の産地であるとともに漆器産地であるが、漆器需要の減少や後継者不足といった問題から近年その産業自体の低迷が見られている。そこで私たちは「＜漆のくに・会津＞プロジェクト」に関わり、漆について調査・体験をした。そして、会津漆についての知識を得た上で会津の漆文化を伝えるためのサイトを制作・公開した。私たちの記録・体験を通して、漆のことを知ってもらえるようなサイトを制作することを最終目標とした。「漆のくに・会津」というプロジェクト名を元に、漆器の中に会津をイメージした一つの国を作り、幅広い年齢層、特に漆のことをよく知らない若い人たちに見てもらいたいという思いから、デザインをかわいらしく親しみやすいものに仕上げた。また写真やイラストを多く使いわかりやすく伝えられるよう心がけた。



現在公開中のうるしブログ「うるぶろ」



漆の木植栽体験

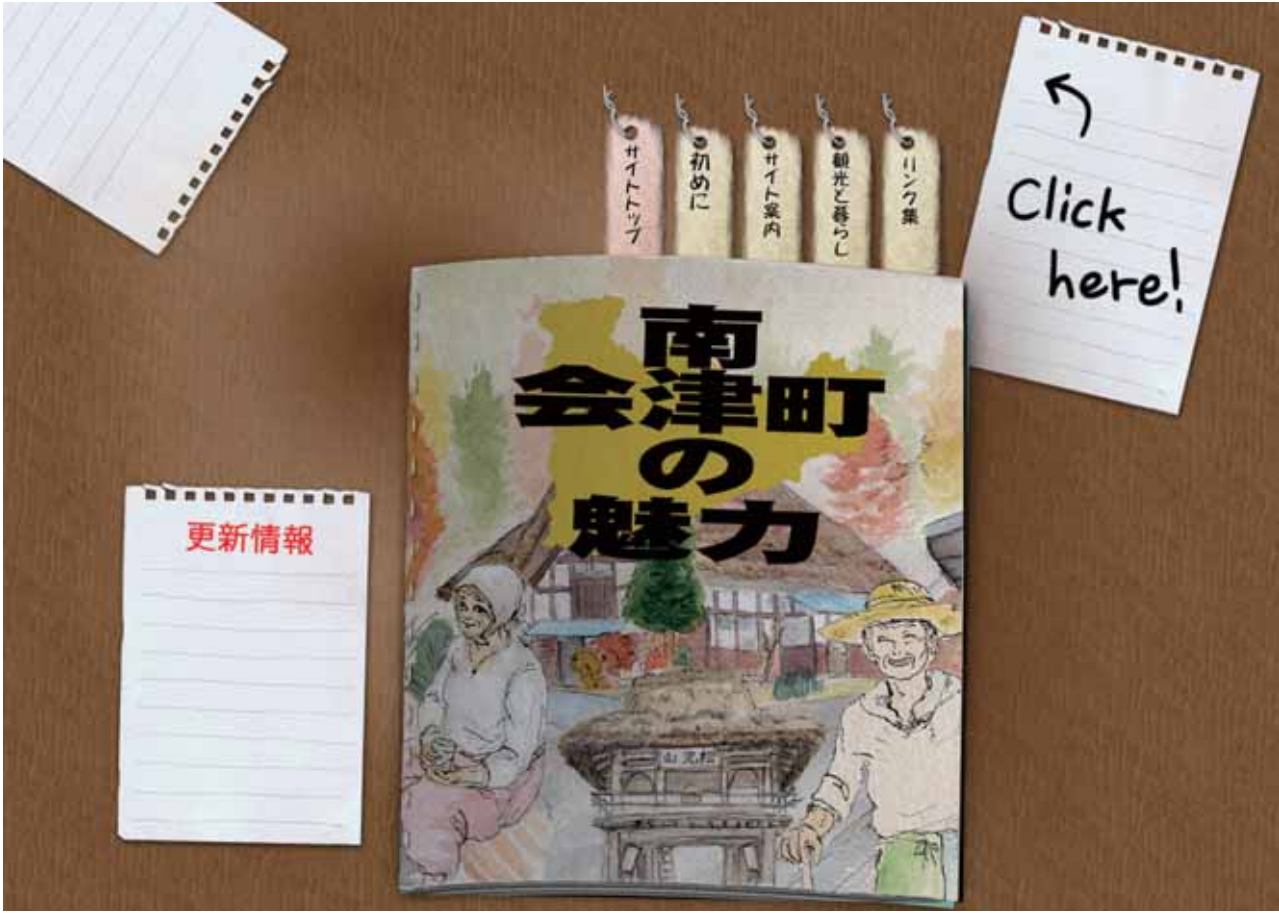


蒔絵師取材

会津漆のくに web プロジェクト
"AIZU URUSHI NO KUNI" web project
今井 晴香 / 斉藤 涼子 / 松本 愛子 / 結城 千浩
IMAI Haruka / SAITO Ryoko / MATSUMOTO Megumi / YUKI Chihiro

ホームページ / ムービー





南会津地方は過疎化が進む地域として挙げられる。解決策のひとつとして地方に魅力を感じた都市部で暮らす人々に移住もしくは二地域居住を促すことが挙げられる。一方過疎化に伴う空き家の増加も問題となっている。そこで私は交流人口の促進を目的とした南会津地方の魅力を発信する WEB サイトの提案を行った。本制作ではターゲット層を退職後第二の人生を迎えようと地方へ移住・二地域居住を考える中高齢者と設定した。中高齢者層は WEB などの近年急発展した媒体よりも雑誌などの古くから存在するアナログな媒体のほうが慣れ親しんでいると考え、既存の中高齢者向けの旅行雑誌等を参考に WEB の情報収集の行いやすさの実現と親しみある媒体の仮想空間上の再現を行った。

南会津地方の空き家情報サイトの提案
Proposal of vacant house information site in MINAMIAIZU area
菊池 紘平 / KIKUCHI kouhei

ホームページ / イラスト



「人」と「水」と「生活」が密接につながっている生活用水路という水辺空間に焦点をあて会津地域の調査を進めることで、後世に残すべき水辺の風景とは何かを考えてきた。提案は、住宅の下に生活用水路が流れている喜多方市熊倉町で行った。生活用水路や洗い場という失われつつある会津の水辺の風景を後世に残す必要性を感じ、『住民のコミュニティスペース＋農業体験宿泊施設＋小さな親水公園』として空き家を活用した提案をした。

あいづ暮らし水景の調査研究
Surveillance study on waterscape of life of AIZU
佐々木 かおり / SASAKI Kaori

ベニヤ板、アクリル板、スチレンボード、パルサ、角材、紙粘土、ビーズ、
水路模型 910×910×50 / 建物模型 600×1140×250



- 1
- 2
- 3 憲法記念日
- 4 みどりの日
- 5 こどもの日
- 6
- 7
- 8
- 9
- 10
- 11
- 12
- 13
- 14
- 15
- 16
- 17
- 18
- 19
- 20
- 21
- 22
- 23
- 24
- 25
- 26
- 27
- 28
- 29 スポーツ大会
- 30
- 31



ぷらっと
おわいなはんしょ



石蔵



産直屋台村

南会津地方に立地する南会津町商店街は、人口減少や少子高齢化の影響を直に受け疲弊しつつあり、売り上げの低迷、空き地・空き店舗の増加、後継者不足などが問題となっている。実際、現在の田島商店街通りの交通量はあるが、商店街利用客数が少なく活気がない。そこで、現地調査・先進地調査・検討会を行い、地元住民・観光客をターゲットとし、商店街に点在している空き地・空き店舗の新たな利活用方法を提案することで、田島商店街への誘客のきっかけづくりを目的とした。

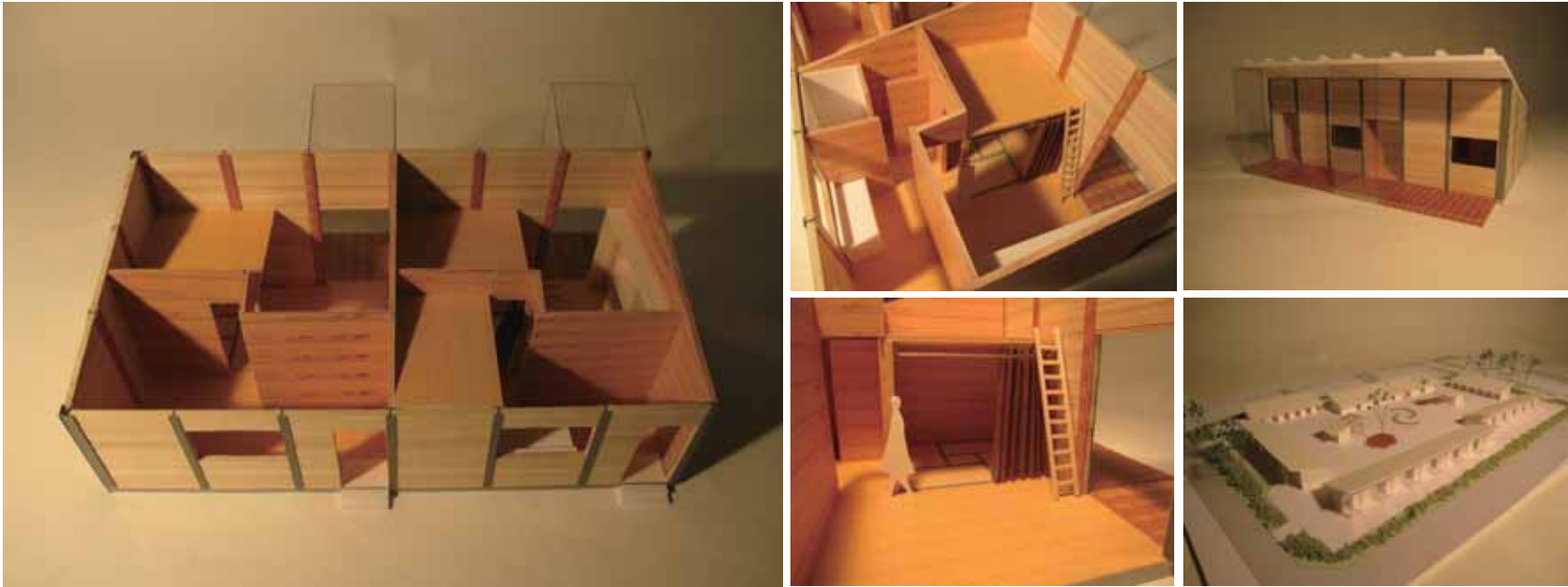
空き店舗を中心とした南会津町商店街活性化
Minamiaizu-machi shopping district activation mainly on the space store

安倍 望美 / 及川 由貴 / 菊池 香奈子 / 松岡 純代
ABE Nozomi / OIKAWA Yuki / KIKUCHI Kanako / MATSUOKA Sumiyo

スチレンボード・塩ビ板・パルサ材・木材・壁紙材・植栽材
490×270×200 / 安倍 1820×920×250 / 及川 350×300×200 / 菊池 350×220×150 / 松岡



1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30



2008 年に起きた岩手・宮城内陸地震をきっかけに災害時に被災者の住居となる応急仮設住宅について研究していきたいと思い調査を開始。文献調査として「過去の震災と応急仮設住宅」「プレハブ建築協会」「新しい応急仮設住宅」を調査。現地調査は「新潟県柏崎市」と「宮城県栗原市花山」を訪れ、応急仮設住宅や復興支援住宅、被災現場を見学。また、会津若松市役所の防災安全課へ訪問し、防災計画等を調査。それらの調査結果を基にロフトやサンルームを設置した「居住性の問題を考慮した応急仮設住宅の提案」とプライバシーを守るため口の字型に配置した「会津若松市に応急仮設住宅の設置シミュレーション提案」を行った。

災害時の住環境 ～被災地における応急仮設住宅及び復興支援住宅の住環境に関する研究～
dwelling environment at disaster
～ The research of the dwelling environment of the emergency temporary shelter and the revival house in the stricken area ～
佐藤 有紗 / SATO Arisa

スチレンボード・木角材・塩ビ版
1/30 模型：1/200 模型



会津大学短期大学部の新しい学生寮をコミュニティ性や防犯・管理面等の諸問題について焦点をあてて設計、提案を行った。設計に当たっては事前に、学生を対象としたアンケート調査や、他公立短期大学部所有の学生寮や国内の両施設の事例についての調査をした。今回の設計では防犯・管理面の問題から短大敷地内で計画想定し、コミュニティ性の問題については共有部を広く取ることと、段階的で自然な交流をさせるようにして解消した。

会津大学短期大学部新学生寮
Student residence of Aizu Junior College
安保 敬正 / AMBO Toshitaka

論文：A4 72P
パネル：A1 x 4



1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

海の日

20

21

22 授業振替日
(7/19の授業を行う)

23

24

25

26

27

28

29

30 夏季休業
(7/30～9/29)

31



大町の行事参加



フラッグ設置の検証



会津木綿選定



聞き取り調査

会津若松市の大町通りで商売、生活をしている女性に焦点を当てて研究し、「このまちにはこんな特徴がある、こんな人がいる」という風な情報が感じられる通りになるように、彼女たち自身の個性や特技などを生かしたまちづくりを行う。大町通りを景観的に活性化させる手段として、女性たちの情報を入れた会津木綿のフラッグを作り各商店と通りの空間を彩るものの提案・製作をした。このフラッグによって大町通りを魅力溢れる都市空間にすることが目的である。

おおまち・フラッグストリート・プロジェクト

大町通りの女性のアーカイブスと情報をもとにしたまちの活性化提案

Omachi Flag Street The activation suggestion of a town made from archives and the information of the woman on Omachi

佐々木 自然 / SASAKI Neito

会津木綿・シルクスクリーン印刷・アイロンプリント・丸棒・麻紐
350×1700



共有部



外観



キッチンほか

全国のグループホームの室内空間を調査し、その中でも特に会津地域のグループホームの現状調査を行った。調査内容は文献調査・アンケート調査・実際にボランティアスタッフとして働いた調査などである。デザインは、採光や換気、外部の変化や自然を見れるように十字に開口部を設けた開放感のある空間を提案した。個室は2つの形のものを不規則に並べた。外部の植栽は、入居者や地域の住民が四季の変化を感じれるよう桜や金木犀などを配置した。

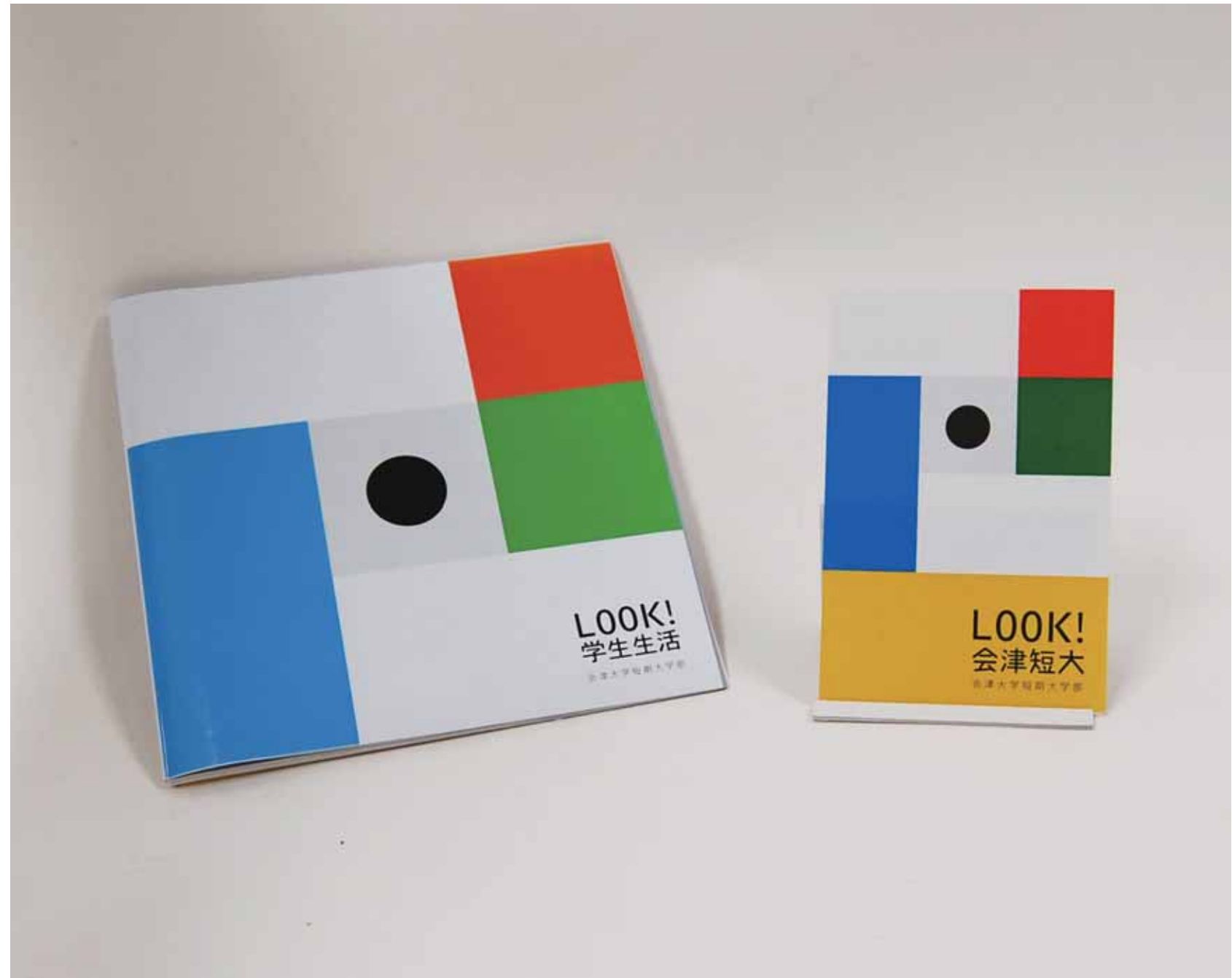
会津地域におけるグループホームの調査・提案

Survey and proposal of group home in Aizu region

須藤 唯 / SUTO Yui

スチレンボード・アクリル板・パルサ・紙・木・ドライフラワー・オアシス
80×1010×190





パンフレット



ポスター



制作風景

高校生・受験生をターゲットに、会津短大を視覚的にわかりやすく宣伝するパンフレットおよびポスターの制作を行った。パンフレットのコンセプトは「学生紹介」とし、会津短大で現在発行されているパンフレットよりもさらに掘り下げ、学生の生活に焦点を当てた。ポスターは学生の生活の様子がわかるように写真を多用し、興味を湧かせるために勢いを出す構成を考えた。元気で親しみやすい原色等を使用し学生の目を引くことを念頭に置きデザインをした。

会津短大 PR ツールのデザイン

Design of Aizu junior college PR tool

鈴木 愛美 / 高橋 里美

SUZUKI Megumi / TAKAHASHI Satomi

パンフレット：200×200

ポスター：515×728



1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20 敬老の日
21
22
23 秋分の日
24
25
26
27
28
29
30 後期学科別ガイダンス 文化講演会



提案されたパッケージ類



太郎庵



市場調査

会津のみでお店を展開している菓子メーカー、「太郎庵」の方とお話をした際に問題点をいくつか見つけた。それを第三者である私たちが改善することによって店側の要望と客側の要望を一致させたいと思い、これを卒業研究のテーマとした。和・洋どちらにも使用でき、店のイメージを崩さないビニール袋・紙袋のデザインと、一目で太郎庵だとわかるような洋菓子用の包装紙・ケーキ用の箱・ビニール袋のデザイン、そして幅広い年齢層にあった黒豆美人と詰め合わせた際統一感のあるゼリーの個装パッケージデザインを各々作成した。

お菓子のグラフィック・デザイン

Graphic Design of Cake

鈴木 千香子 / 高橋 絵梨 / 長澤 沙知
SUZUKI Chikako / TAKAHASHI Eri / NAGASAWA Sachi

ビニール・ユボ紙・ボール紙・トレーシングペーパー・コート紙・模造紙など



1	後期授業開始
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	体育の日
12	
13	
14	
15	紅翔祭
16	紅翔祭
17	紅翔祭
18	後期履修登録
19	後期履修登録
20	
21	
22	
23	
24	
25	
26	
27	
28	
29	
30	開学記念日
31	



会津短大から車で 30 分ほど行ったところにある、闇川集落。そのパンフレットデザインを中心に、PR ツールのデザインを行った。取材を通じて知った闇川の良さを、多くの人に知ってもらいたいと思い制作に至った。パンフレットは、ありふれたものではなく、新鮮で親しみやすいものになるよう新聞風のレイアウトにまとめている。かつては「炭と山菜の里」と呼ばれていた闇川、そして現在の闇川を知ってもらえるよう、多角的な内容を目指した。

闇川集落の地域 PR

regional PR of Kugragawa

田部 聡美 / 油井 葵

TABE Satomi / YUI Aoi

「闇川新聞」

素材：新聞用紙、サイズ：B4（257×364mm）、全 8 ページ

植木鉢・火鉢の提案

私たちは商品開発を通して、かつて「炭と山菜の里」として知られていた闇川集落の素晴らしい技術や環境などを世間に知ってもらうことを目的とし、そこから一度闇川を離れた人が帰ってくることや、新しく闇川居住に興味を持たせることに繋がりたいと考えた。そのため、闇川の木材や炭などを使った商品を作成していった。また、私たちが商品開発を行うことにより集落が経済的に豊かになること、私たちが提案した商品を製作する過程で住民同士の交流がより深まり、日々の楽しみに繋がることを目指した。

闇川再生プロジェクト

The Kuragawa reproduction project

石井 久美子 / 斎藤 晶 / 三浦 春香

ISHII Kumiko / SAITO Aki / MIURA Haruka

小物入れ：丸太（桜）・丸棒・ベニヤ合板 / ストラップ：炭・丸カン・ストラップパーツ

火鉢：檜・スチール缶・ベニヤ合板 / 植木鉢：桜

GRADUATION WORKS PRODUCT

11 NOV.

1

2

3 文化の日

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20 推薦・社会人入試

21

22

23 勤労感謝の日

24

25

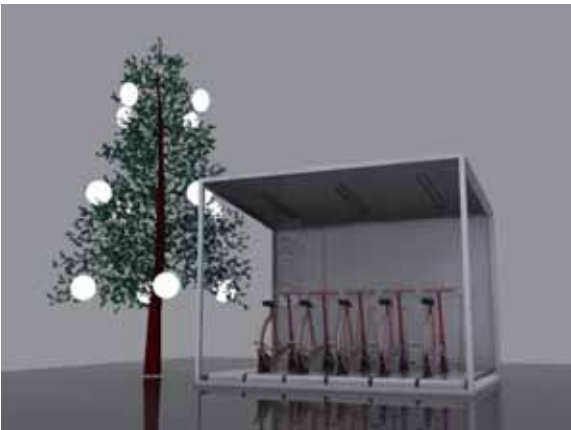
26

27

28

29 推薦・社会人入試
合格発表

30



この研究は、全国各地域で問題とされ回復されないままの駐輪景観の現状を、製品デザインの観点から改善しようとするものである。問題の細分化と具体化を行い考え出されたものは、持ち運ぶ手間と労力を省いたキャリーバック仕様の折りたたみ自転車である。また駐輪場は、整理された駐輪を意識させるサクラを置いたようなデザインと、駐輪することでイベントごとの照明が点灯したり、ユーザにポイントが与えられるシステムを考案した。

駐輪景観改良を図る通学・通勤用自転車

The proposal of bicycle for commuting to realize scenic bicycle parking

菅 家 伸五郎

KANKE Shingorow

モックアップ：ウレタン / 想定：アルミニウム合金フレーム

サイズ：1150x1050x40



私には高齢で右半身不随の障害がある祖父がいる。普段、起立着席の動作に負担を感じている様子だった。祖父は残る機能を衰え(おとろえ)させないように運動を続けたいと考えていたので、祖父の機能維持のための努力をサポートする起立補助用具をデザインすることを目的とした。床に座った状態から立つ動作を二回に分けることにより、身体の負担を分割して和らげる。また、起立補助用具として利用しないときは杖として利用する。サイズは通常の行動のようにスムーズな動作がおこなえるように折りたたんだ際の高さは祖父の杖の長さにし、広げた際の肘掛の高さは普段利用している座卓の寸法に近い大きさである。身体障害には重い人から軽い人までさまざまあるが、市場に出ている商品で一人ひとりに合わせた商品はあまりなかった。それぞれの症状にあった商品があってもよいと思う。制作に当たって、安全性を重視することと軽量化や簡単にすることは大切であるが、両方を取り入れることはとても大変だということを感じた。

障害者のための起立補助用具

Standing up auxiliary use tool for handicapped person

渡 邊 美 香

WATANABE Mika

素材：合板・ネジ・ちょうばん 他

重量：約2 k g





この作品は、漆の音を聴きたい、感じてみたいという思いから生まれたものだ。古楽器の形をヒントに、形をデザインしていった。大きな螺旋状のものは、アルペンホルンと法螺貝をイメージした。丸が二つ並んだ小さいものはイングリッシュホルンというリード楽器を参考にした。ベルを持たないのでこもった音が出るのが特徴だ。渦巻状のものはナチュラルホルンからイメージを膨らませてデザインした。ひとつひとつ形はもちろん、音にも違いが出て楽しい作品に仕上がったと思う。

漆の音
Urushi no Oto

山田 桃子
YAMADA Momoko

技法：乾漆、螺鈿、溜塗り、蒔き地 / 素材：麻布、生漆、黒呂色漆、木地呂漆、赤漆、青貝、乾漆粉
サイズ A：150×20×20 B：50×10×10 C：40×40×20



現在において日本の食文化は多様性を極め、西洋料理、中華料理をはじめとし、世界中の食があふれている。それと共に漆器類も食生活の中で使用される機会が減少した。核家族化も進み大家族で暮らす光景もあまり見られなくなり、世代を越えて伝統文化が伝えられる機会も減ってきた。古来お花見やお月見など日本の四季やお祝い事には漆器を用いり、漆器を囲みながら人とのコミュニケーションを図っていた。工夫された漆器を囲み、今一度日本の伝統や文化の重要性を見つめ直してほしいと思い、この提重を研究テーマにした。

和
Wa

渡辺 成美
WATANABE Narumi

素材：ケヤキ・合板・絵漆



1 元日

2

3

4

5

6

7

8

9

10 成人の日

11

12

13

14 授業振替日
(1/10の授業を行う)

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

31



漆は昔からある伝統美ということで私は「美」という言葉に着目した。江戸時代には華やぎの品々として蒔絵の調度に使われていたことから漆と「粧い」の関連性は深いと思った。現代にも同様に女性が毎日使うドレッサーは、「粧う」ための大切な場所であると考えた。螺鈿などの装飾技法を用い、伝統的な漆芸表現を活かしつつも、その枠に捉われないデザインを目指す。漆のドレッサーを制作し、粧いの空間を演出することで、同世代の女性にも漆の幅広い存在を知ってもらいたいと思う。

粧う
Dress
野澤 未令
NOZAWA Minori
素材：木地・漆・銀粉・青貝
サイズ：26×26×26



この2年間の中で自分にとって最も大切に感じたものは「音楽」という存在だった。それは常に私のそばにあり、心の支えとしてなくてはならない大切なものだった。私は音楽から生きるためのエネルギーを得ていたのだと思う。では、音楽の持つパワーとは何か？それは音楽の「ビート(=鼓動)」に関わりがあると私は思う。音楽のビートが身体の中に響くことで、それがまるで血を巡らせて身体を生かしている心臓の鼓動のように力を湧き上がらせるのではないか。それをより生々しく表現したいと考えた上で、私は鼓動を連想させる心臓を制作した

ビート
Beat
青木しず江
AOKI Shizue
素材：石膏・漆・金粉・麻布・炭粉・螺鈿・卵殻・金箔他 / 技法：平極蒔絵・変わり塗・漆絵他
サイズ：120×80×80



1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11 建国記念日

12 一般入試(1期)

13

14

15

16

17

18

19

20

21 一般入試(1期)
合格発表

22

23

24

25

26

27

28



私は会津短大への入学をきっかけに漆や漆器作りについて学んできた。私自身2年間を通して漆に携わり、漆ならではの魅力を実感した。しかし、漆は伝統工芸であるにも関わらず私自身がそうであったように今の若い世代にはそこまで馴染み深いものではないと言える。そこで、私達が普段当たり前前に使う”お弁当箱”を卒業制作のテーマとし、漆の良さをより身近で感じ、親しみやすいと思えるものを制作したいと考えた。漆という素材をより身近に感じ、また、1つのものを長い間使い続けたいと思えるようなお弁当箱を提案する。

魅せるお弁当

attractive lunchbox

橋本 真理
HASHIMOTO Mari

素材 麻布、木地、漆、白蝶貝、金粉、銀粉 / 技法 乾漆、研ぎ出し蒔絵、平蒔絵、螺鈿
サイズ 195×110×50



漆の持つ広い可能性を知ってもらいたい、その思いで製作したのがこの作品である。「海」をテーマに卒業研究を進めると決め、そこで漆の魅力と海の広大さを表現できるのではないかと思いモチーフとして選んだのが、巨大な魚であるマンタである。漆というと器物のイメージが一般的だが、この作品を見て漆はこのような自由な作品を作ることができることを知ってもらい、また漆が持つ独特の艶や滑らかさを感じ取ってもらいたいと思う。

海

Sea

上野 咲
UENO Saki

漆、呂色漆、木地呂漆、青貝、スタイロフォーム、麻布、粘土、木
サイズ・・・1650×1800×250



SEMINAR INTRODUCTION



横尾ゼミ
interface design

私たち横尾ゼミは web デザインを中心に講義・実習を行っています。Illustrator や Photoshop はもちろんですが、特に Dreamweaver を使い web サイトを制作したり Flash を使って動画などのセジタルコンテンツを制作する技術を学ぶことができます。実際に存在するサイトと同じものを制作していくという実習では、制作していくうちに技術を培っていくだけでなく、ユーザビリティ(使い勝手)やアクセシビリティ(例：高齢者にも対応した使いやすさなど)を考慮した web デザインの方法を自然と学ぶことができます。また、のびのびとした自由度の高いゼミなので、web デザインだけでなくデザインという分野を幅広く学ぶことができ、自分が好きなことを突き詰めていくことができるゼミでもあると思います。



牧田ゼミ
interior design

インテリア・牧田ゼミは我等が神、牧田先生のご指導の下、いつもその笑顔に癒されながらほのぼのと暮らしています。卒業研究はグループなのでよく牧田研究室に集まりよく餌付けされていました。夏休みになると調査という名の下必ずどこかに出かけます。もちろん牧田先生の愛車に乗ることができリッチな気分が味わえること間違いなしです。 研究の終盤になると毎日「締め切り」というしがらみに追われ、追い越されきつと私たちは問題児だったでしょう(^o^) そんな中でも牧田先生は嫌な顔せず私たちに指導をしてくださり本当に素晴らしい先生です。ありがとうございました！そしてごめんなさい。常になにかしら作業している牧田ゼミ。よく話し合う牧田ゼミ。でもやるときはやる牧田ゼミ。そんな牧田ゼミのメンバーは… 必殺トイレ職人！のん氏。小物のクオリティがパネェ！おゆき。探求心旺盛☆草食女子！冬だけマダム・かなこ。脱線事故多発！（負傷者〇千人）すみよ。笑 こんな私たちをまとめてくださったジェントルマン MA・KI・TA！の構成でこの2年間繰り広げてまいりました。支えてくださった皆様には本当に感謝しています。ありがとう牧田ゼミ。牧田ゼミに幸あれ(^ω^)



柴崎ゼミ
interior design

柴崎ゼミは、行動力・精神力・積極性が鍛えられます。ゼミ中の選曲センスあふれる BGM は、昨年、スピッツから P e r f u m e に世代交代をしました。流行の波にちゃっかり乗って、学生のハートを掴む柴崎先生です。指導者の柴崎先生は、一人ひとりの研究を見守りながらも、プロの鋭い視点から指導をしてくれます。秋になると、戦いの毎日です。そう、それは行き詰まり始める卒業研究・・・毎週、先生のチェックに怯える日々が始まります。1 日が終わり、深夜 0 時の日にちが変わる瞬間・・・焦りから恐怖感を味わいます。他では体験できないハードでスリリングな充実した 2 年間が送れます。毎日が戦いの中・・・無事に研究を完成させることができれば、何ともいえない達成感と開放感に満ち溢れることができるでしょう！時間が足りないと思うくらい忙しい柴崎ゼミですが、時間が経てば楽しかったと思える・・・はず。そんなやり甲斐のある柴崎ゼミ。色々な方々と知り合える柴崎ゼミ。みんな自由すぎる柴崎ゼミ。個性をさらに高めることのできる柴崎ゼミ。計画性のあまりない柴崎ゼミ。わりと勢いで乗り切る柴崎ゼミ。最後の最後でやり始める柴崎ゼミ。最後の最後であせり始める柴崎ゼミ。最終的になんとかなっちゃう柴崎ゼミ。まあそんな感じですが、短大生活を充実させたいその・・・あなた！柴崎ゼミに、いらっしゃ〜い。



高橋ゼミ
graphic design

グラフィックゼミ！メンバーは 7 人＋高橋先生の 8 人で、高橋先生の 7 人乗りの車には乗り切れないという大家族なゼミです。ゼミでは、グラフィックデザインの基礎について学びます。1 年生の頃は、名刺やフライヤーなど、比較的簡単なものを作ります。そのうちに Illustrator や Photoshop が使えるようになります。絵本や新聞広告、カレンダーなども作ります。基礎をさらっと学んだ後は、難しいものに取り組みます。ターゲットやコンセプトなどを考えて、見る人に何を伝えるか、どういうふうに伝えるか、考えて取り組みます。地元のお菓子メーカーと協力してパッケージデザインに挑戦したり、美容専門学校に取材してポスターを作ったりしました。グラフィックデザインは、単にパソコンで作ることがすべてではありません。取材や会議でたくさんの人と関わる中で見えてくるのがあって、それをどう伝えるか！そこが大切なのだと学んだ 2 年間でした。その結果がきっと卒研にあらわれている！と思われます。難しいこともあって、締め切り前は大変ですが、たいていはゆるっとしたゼミです。先生は、私たちにケーキを買ってきてくれたり、そのほかにもお菓子を食べたりして和やかです。ちかぴー、ヤンキーめぐちゃん、えり姉さん、きのこ、おっさんたべ、さち、孫ゆいあおい、時々実習の本田先生、そして高橋先生というメンバーで壮絶なる 2 年間で過ごしました。いろいろ学べておいしい！それがグラフィックゼミです。



井波ゼミ
craft design

私たちクラフトゼミでは、井波先生のご指導の下、漆芸を学んでいます。原型となる木地づくりから始まり、下地付けや研ぎ、塗りなど漆器が出来上がるまでの工程を順に学んでいきます。漆の基礎が分かってきたところで、さらに蒔絵や螺鈿、変わり塗など様々な技法を習い、時には自分なりに技法をアレンジして使うなど多様な漆の表現の仕方を探ることが出来ます。またクラフトゼミでは、二年間を通してお椀や箱、プレートなどの器物はもちろんのこと、オブジェなど自由な発想を活かす造形物の制作にも取り組むことが出来ます。原型作りから仕上げの装飾まで自分でデザインしていくので、ひとりひとりの感性が活かされた個性的な作品が出来上がります。ものづくりとは何なのか、なぜ自分はこの作品を作るのか、そこにある思いとは・・・と日々悩みは尽きませんが、自分自身と向き合ってじっくりと考えを深めることで、方向性が明確になり作品の深みが増していきます。漆芸とは、ひとつのものを作るのに多くの工程を踏まなければなりません。その工程ひとつひとつに時間がかかるものですが作品が出来上がったときには大きな達成感が得られます。クラフトゼミでは多くの作品を制作しますが、その過程を通して、表現に繰り返し悩み、自分の意図や気持ちを反芻しながら作品と向き合うことで、結果としてまったく新しい自分に出会うチャンスをもたらえると思います。



時野谷ゼミ
product design

時野谷ゼミは時計やスピーカーなど工業製品のデザイン、リデザインを主にしています。市場現況の調査やアイデア展開、デザインが決まるとみんなで期限に間に合うように、音楽機器片手に木工室にこもって必死にウレタンを削り塗装をする毎日。そして最後には自分の考え、製品の良さを伝えるためのプレゼンテーションが待っています。卒業研究では、各自テーマを設定し、発表に向けてゼミ室や CG 室にこもる日々。大変そうに見えますが、確かに大変ですが意外と楽しく充実しています。しかし大変なだけではなく嬉しい事に春ゼミでは時野谷先生特製の美味しい夕飯をご馳走に、春から夏頃には歓迎会として 2 年生の美味しい手料理、秋には芋煮会、冬はクリスマスパーティーと楽しみも沢山なゼミです。時野谷先生から放たれるプレッシャーは凄まじいものですが、そのおかげでプレゼンテーション、設計図、モデル作成、展示方法など様々な方向に成長が出来る素晴らしいゼミだと思っています。いっしょ、かんげ氏、アキサ、閣下、ぼんちゃん等ゼミ生のプレッシャーに屈しない精神はこうして育った！ポットもレンジもあるゼミ室で、マイカップに淹れた紅茶片手にお菓子をつまみながらみんなでアイデア展開してみませんか？でもスロースタートにだけご注意ください！

SUBJECT INTRODUCTION

産業情報学科デザイン情報コース
department of management
and design, Design course

インターフェイス
interface design

インテリアゼミ
interior design

グラフィックゼミ
graphic design

クラフトゼミ
craft design

プロダクトゼミ
product design

デザインの視点から情報化社会と向き合う

情報技術の急速な進展、社会の複雑化・高度化、少子高齢化、地球環境の変化などに伴い、産業界では幅広い視野に基づいた発想や判断がより重要度を増しており、市場環境の変化に対応できる柔軟性と創造性を持ち、高度な専門性を備えた人材が強く求められています。こうした状況を踏まえて、産業情報学科では経営情報コースとデザイン情報コースの2コースを配置し、それぞれの視点から今日的課題を見つめ、情報化時代に柔軟に適應できる統合能力を有する人材育成を教育目標にしています。

デザイン活動には産業・社会・経営等に関する幅広い視点から問題の把握・分析、創造性豊かな感性と展開力、時代を読む解決能力などが合わせて求められています。デザイン情報コースでは、デザイン及び情報の基礎的能力を育成する専門教育科目を学ぶとともに、より専門性を深めるために、デザインの領域をインターフェース、インテリア、グラフィック、クラフト、プロダクトの5分野に分け、その領域に関連する専門教育科目を配置し、情報化時代におけるデザイン活動と歴史・文化・環境などに配慮した、モノ・事のデザインができるデザイナーの養成を目指します。

Webデザインを中心に講義・実習を進めていきます。Webサイトで見られる画像や音声、そして動画などを扱うデジタルコンテンツ制作のための基本的な技術を学び、デザインに応用していくことを目指します。また、Webサイトで必要とされるユーザビリティ(使い勝手)、さらにはアクセシビリティ(例:高齢者にも対応した使いやすさなど)を考慮に入れたWebサイト制作など使う人の視点に立ったデザイン方法を学びます。

戸建て住宅や集合住宅の室内空間、喫茶店などの商業空間、公共建築物の室内空間など、建築物を対象とした空間デザインの考え方・手法を学ぶとともに、人間にとっての居住空間のあり方や居住環境をいかに整えるかを考えます。ゼミでは、家具デザインからインテリア・建築デザイン、都市・地域デザインなどを範疇として、問題点の発見から解決までを自ら考えます。これらを通して、居住環境を創造できる人材を目指しています。

広告・出版・印刷に関連する業界で将来活躍できる人材を目標にしています。実習やゼミの授業では、ポスター、カレンダー、ポストカード、パッケージ、新聞広告などといったグラフィック作品や、絵本やタウン誌の編集制作などを実際につくりながら学んでいます。グラフィックデザインに関する専門知識を学ぶだけでなく、常に見る人の気持ちになって考え、そしてつくるビジュアルデザインの基本を大切にしています。

自然素材である漆をフィルターとし物事の本質を学習します。漆に関係する制作対象物の目的や社会性を重視した授業の中で、発案から完成まで一貫的な制作において漆産業をプロデュースできる能力を養うことを目指します。轆轤(ろくろ)や指物などの木工技術を習得し、基本的な漆塗り工程を学習するとともにオブジェやジュエリー、蒔絵や螺鈿(らでん)などを通し漆の新しい可能性を追求します。

テレビ、電気炊飯器、掃除機、冷蔵庫、電話機、洗濯機、ステレオ、CDプレーヤー、パソコン、プリンター、コピー機、椅子、テーブル、自転車、自動車などの生活に密着した工業製品のデザインについて学び、関連分野で活躍できる人材の育成を目指します。そのためにデザインに関する基本技術の習得と社会を広く見つめ、どこに改善すべき点があるかといった問題意識を有し、その解決策を模索することのできる能力の習得を目指します。

公立大学法人会津大学

会津大学短期大学部

福島県会津若松市一箕町大字八幡字門田1-1 〒965-8570

phone 0242-37-2300(代表)

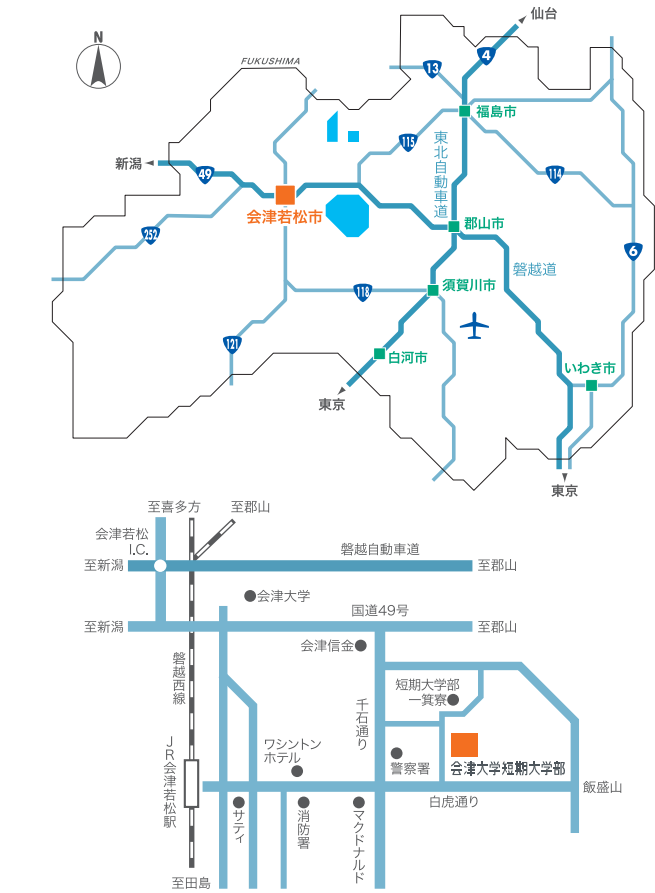
phone 0242-37-2301(広報・入試等担当窓口)

fax 0242-37-2412

URL <http://www.jc.u-aizu.ac.jp/>

e-mail info@jc.u-aizu.ac.jp

ACCESS MAP



自動車を利用の場合

秋田方面から【秋田南 IC から 396.5km】東北道・磐越道経由

山形方面から【山形北 IC から 182.1km】山形道・磐越道経由

仙台方面から【宮城 IC から 158.3km】東北道・磐越道経由

新潟方面から【新潟中央 IC から 95.2km】磐越道

石川方面から【金沢東 IC から 243.2km】北陸道・磐越道経由

東京方面から【浦和 IC から 261.5km】東北道・磐越道経由

長野から【長野 IC から 450.3km】上信越道・関越道・磐越道経由

群馬から【前橋 IC から 311.9km】関越道・北陸道・磐越道経由

名古屋から【名古屋 IC から 652.4km】名神高速・北陸道・磐越道経由

大阪から【東大阪 IC から 699.2km】近畿道・名神高速・北陸道・磐越道経由

京都から【京都東 IC から 645.3km】名神高速・北陸道・磐越道経由

列車を利用の場合

秋田から【約 4 時間 10 分】秋田新幹線・磐越西線経由

仙台から【約 2 時間】東北新幹線・磐越西線経由

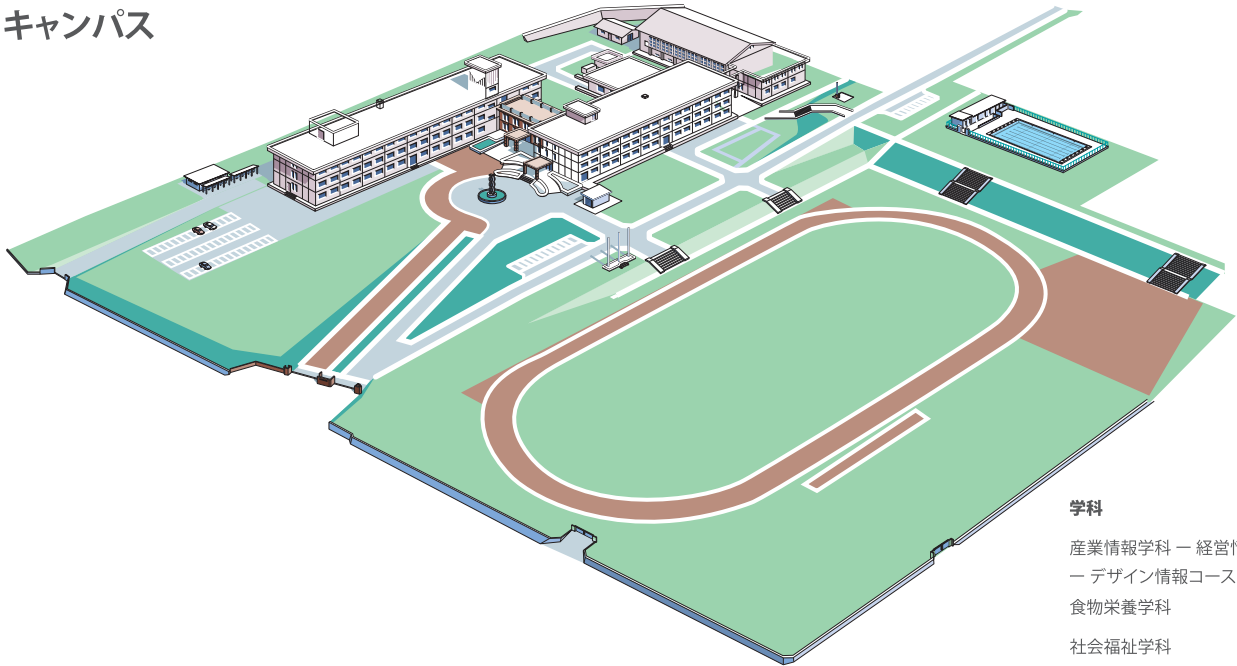
富山から【約 5 時間 20 分】北陸・信越本線・磐越西線経由

長野から【約 3 時間 10 分】上越・長野新幹線・東北新幹線・磐越西線経由

大阪から【約 5 時間】東海道新幹線・東北新幹線・磐越西線経由

東武浅草から【約 4 時間 50 分】東武鉄道・野岩鉄道・会津鉄道経由

キャンパス



学科

産業情報学科 ー 経営情報コース

ー デザイン情報コース

食物栄養学科

社会福祉学科